

「第56回北海道開発局空港技術研究会議」を開催しました

北海道開発局では、北海道内で空港整備を行う担当者の技術の研鑽と、道内・道外の空港を巡る最近の動向についての情報交換を目的として、「第56回北海道開発局空港技術研究会議」を12月13日（水）に札幌第1合同庁舎2階講堂にて開催しました。

会議の概要

平成29年12月13日(水)13:30~17:00 札幌第1合同庁舎 2階講堂
〔参加人数：106人(行政機関、空港関係者、建設・コンサルタント等)〕

<プログラム>

- ① 仙台空港におけるターミナル拡張工事等について
【仙台国際空港株式会社】
内容：空港運営民間委託(コンセッション)後の空港活性化や設備投資に対する基本的な考え方や施設整備の具体的な計画
- ② 成田国際空港における更なる機能強化に関する検討経緯について
【成田国際空港株式会社】
内容：首都圏空港の機能強化に係る成田空港の滑走路の新設や延伸、夜間飛行制限緩和などの検討経緯
- ③ 関西国際空港における南海トラフ地震・津波への対策—防潮壁の築造—
【関西エアポート株式会社】
内容：南海トラフ地震の津波への対策として築造された防潮壁に係る計画から施工完了までの事例紹介
- ④ 積雪寒冷地における舗装設計に関する一考察について
【国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所】
内容：空港舗装設計手法に係る必要条件の検討結果報告
- ⑤ 函館空港RESA12側整備における補償事例について
【函館開発建設部 函館港湾事務所】
内容：滑走路端安全区域(RESA)整備における市道切り替え等の補償工事の事例紹介

